

TAKE OFF

私のジオツアー (伊豆半島)

田辺年隆 (千葉県船橋市)

放送大学でジオパークを学んで

先日、放送大学の面接授業「日本列島地質旅行」を受けてジオパークについて学びました。

伊豆半島ジオパークは、駿河湾と相模湾を隔てる南北 60 km、東西 40 km の半島に位置し、長く複雑な海岸線とともに、標高 1,000m を超える急峻な山地を有しています。

半島の大地の成り立ちは、地層などの証拠によって 2,000 万年前までさかのぼることができ、2,000 万年前、伊豆はフィリピン海プレートの上にできた海底火山で本州のはるか南にありました。この海底火山や火山島は、フィリピン海プレートと共に北に移動し、100 万年前頃に本州に衝突し、60 万年前には現在のような半島の形になり、この衝突は、伊豆だけにとどまらず、本州側にある丹沢山地や赤石山脈を隆起させ、広い地域に影響を与えています。

伊豆半島は現在もフィリピン海プレートと共に本州を押し続け、その結果、赤石山地は年間約 4mm という日本国内でも有数の速さで隆起を続けているとのこと。

伊豆半島で見られる手掛かり

これらの海底火山の活動とその地下構造を知るための重要な手掛かりとして、

- ①海底火山噴出物が作る海岸：堂ヶ島
- ②海底火山噴出物とそれを貫く岩脈：三ツ石岬
- ③海底火山噴出物でできた海食洞：龍宮窟などで、美しい海岸線を楽しめます。

また、海底火山の噴出物のうち火山砕屑物からなる凝灰岩とその利用について、

- ④伊豆軟石を切り出していた砕石場跡：室岩洞(松崎町)など伊豆南～西海岸、狩野川左岸
- ⑤伊豆軟石の利用と幕末開国の歴史：下田市街の伊豆石建築など街並みを構成する要素としての火山噴出物を街歩きとして楽しむことができますし、伊豆堅石は天城火山や宇佐美火山などの溶岩を利用した石材で江戸城や駿府城などの石垣に用いられています。

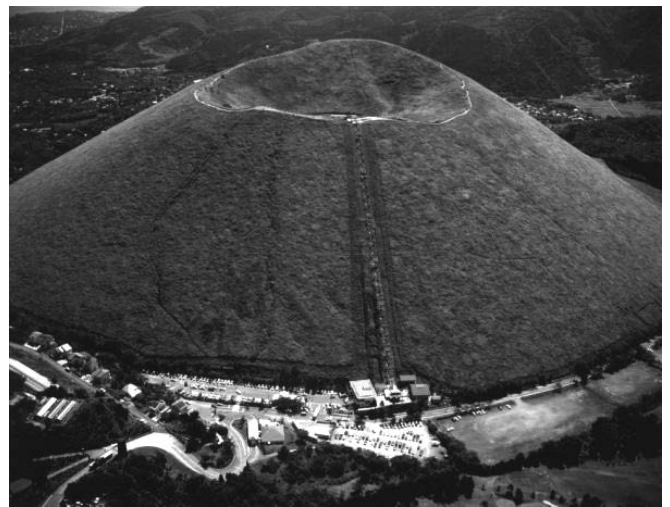
独立単成火山群の伊豆東部火山群(小さな火山をめぐる)

- ⑥伊豆東部火山群最大級のスコリア丘：大室山(伊東市)
- ⑦大室山の溶岩がつくる岩石海岸：城ヶ崎海岸
- ⑧大室山の溶岩によるせき止め湖の名残：池の盆地
- ⑨伊豆東部火山群のマール：一碧湖

日本列島で稀な独立単成火山群であり、噴火のたびに火口位置を変え、スコリア丘、マール、溶岩ドームといった多様な火山地形を作り出しています。

伊豆の海と『南から来た火山の贈り物』

- ⑩駿河湾の海流がつくった砂嘴：御浜岬
- ⑪鉢窪山の溶岩とそこからの湧き水：浄蓮の滝とわさび沢



スコリア丘の大室山

伊豆半島の豊かな恵み

伊豆半島の東西は、プレートの沈み込みで深い海を形成し、外洋の海水の強い影響を受け、日本列島の南岸に沿って流れてきた黒潮は、伊豆半島の南方に続く伊豆・小笠原火山弧の高まりにぶつかり、大きく蛇行し駿河湾に流れ込んでいます。周辺海域は、豊かな漁場やダイビングポイントになっており、特産のキンメダイやタカアシガニも本地域の恵みです。

駿河湾内の海流が運ぶ土砂が堆積した砂嘴である御浜岬に囲まれる天然の良港が戸田港です。

半島中央部の天城山付近は国内有数の多雨地帯で、雨水は火山噴石物中に地下水として涵養され各所で豊かな湧水となっており、清廉な湧水は品質の良いわさびを作り出し、一部は高い地熱によって温められ各地に温泉として湧きだしています。これも重要な『火山の贈り物』です。

以上全般的に伊豆半島ジオツアーの魅力を述べてきましたが、じっくり楽しむには意外と時間がかかり、ポイントを絞って何度も運び、陸から海から眺めるのが望ましいと思います。